

あきたへ、あなたも、あしたから
Aターン情報誌

あきた日和

AKITA BIYORI

2006
冬号

vol.32



ふるさと定住機構のホームページを 立ち上げました

Aターンインタビュー

秋田温泉プラザ
加藤 真希子さん

秋田の「今」がよく分かる

あきた A・LA・CARTE

歴史の香り漂う美しい街 横手市の旅

INFORMATION

再調査票の提出はお済みですか？
Aターン就職相談会開催のお知らせ

ふるさと定住機構のホームページを立ち上げました。

これまで、フレッシュワークAKITAのホームページ上で、ふるさと定住機構からのお知らせとして情報を提供して参りましたが、ふるさと定住機構単独でホームページを開発しました。今後は今まで以上に速やかな情報の提供に努めていきたいと考えております。そこで、今回は、ホームページの紹介をさせていただきます。

1 定住機構からのお知らせ



就職等の面接会の案内や、近く予定されている事業等について、ご案内するページです。

2 定住機構とは？

定住機構について紹介をさせて頂いているページです。



3 機構のあらまし

定住機構の取次決算等について公開しています。

4 Aターン希望の方へ

Aターン登録制度についての案内と登録方法についての説明があります。求職される方についての求人情報検索として、ハローワークインターネットサービスや、仕事情報ネットへリンクさせています。また、Aターン希望者の県外窓口としての秋田県の県外事務所であるAターンプラザ秋田について紹介しています。更に、秋田県の住宅情報の提供として、秋田県住宅供給公社及び、秋田県営住宅のホームページへリンクさせています。その他、Aターン就職を希望される方々の情報収集の参考として頂けるよう、各種サービス機関について、リンクするようになっています。

5 Aターン者を求める企業の方へ

Aターン登録者に対してのリクエスト制度について、説明しています。Aターン登録者を希望職種毎に分類した登録者情報一覧を発行していますので、企業における人材確保の資料としてご利用ください。尚、Aターン登録者情報一覧については、ホームページでは公開しておりませんので、希望される事業所の方についてはホームページから申込みして頂くこととなります。

6 フレッシュワークAKITA

ふるさと定住機構が事務局を行っている団体です。中学生・高校生から30歳代までの若い人たちの就職選取など就職活動をナビゲートしています。パソコンを活用した職業適性診断やジョブタウンめぐりなど「しごと検索」をしながら職業学習と職業相談ができる施設です。

7 季刊あきた日和

Aターン就職者のインタビューや、県内各地の情報、面接会やイベント等の開催のご案内、その他Aターンに必要な情報を掲載しています。こちらは、年に4回発行している定期刊行物となっています。



8 リンク

関係機関を一覧として表示させリンクさせています。

9 お問い合わせ

Aターンに関すること、定住機構に関するものの質問等について、クリックチェック方式で簡単に送信できるシステムとなっております。是非ご利用ください。



一度離れた秋田で

加藤真希子さんは高校卒業後、栃木県にある温泉で接客員として勤務していました。「一度は限界で就職したかったです。経験を積むという意味でも、見聞を広めるためにも。」そんな加藤さんをAターンに向かわせた理由はなんだったのでしょうか。「時期が来たというか、

自分の中でおさまりがついたので。『若い』ということを一つの武器にして、思い切って生まれ故郷を離れてみました。長女として両親のことも気になりましたし、やはりふるさとがいいなとも思いました。」離れたからこそわかる秋田の良さ気づいてから就職活動を始めます。そう長くはかからなかったそうです。

新しい生活

Aターン登録をしたのは平成17年7月。登録してから2カ月余りで就職が決まるというスムーズな展開でした。「私は本当にラッキーだったと思います。登録して、すぐに今の勤め先である秋田温泉プラザの募集を見つけ、応募しました。面接では厳しい意見もあったのですが途中で不安になりましたが、お話を続けている内にその場で採用が決まったんです」と、明るく話す加藤さんの笑顔は、その時の喜びがまだ残っているかのようです。「もちろん登録をしてからは、情報誌に目を通したり、地元の友達に秋田の現状を聞いたり、細かな作業もしました。だから、この職場の求人を見た時に、これだ、とチャンスを感じることができたのだと思います。」同じ業種とはいえ、新しい職場で最初は馴れないことも多かったのではないのでしょうか。「今の職場は地元密着型ですから、リビ

ーターのお客様が多いんです。ですから、前にいらっしゃった時とはお料理の献立を変える、お部屋の角も前回とは違うように配座する、といった気配りを絶えずしています。そういったサービス業の成となるものを真剣に学べる今の職場は、自分のスキルアップのためにも最高の環境といえるかも知れません。」

目標を高く持って

「どんなに仕事か忙しくとも、休みの日に実家に帰って思い切り甘えられる環境があるというのは、私にとっては本当に幸せなこと。その切り替えがあるから生活の中に良いリズムを作れるし、勤務時間が長く、寮生活だった以前は移ってほしいくらいだと思っていた自分の時間を持つことができます。その静かな時間の中で自分と向き合い、自然に5年後10年後の自分をイメージし、ビジョンを持って生活しています。」

選び、選ばれるということ

就職活動の際になにか難しかった点はありませんか。「今考えると、もっと

考えておくべきだったことはあります。私の持つ接客技術がどう会社のニーズと合うのか、私の武器はなんであるのかももっと明確にするべきでした。例えば、会社はどのように人材を求めているのかをもっと分析していたら、面接の際に言葉に詰まることもなかったかもしれません。」実は、面接の際の質疑応答で、「君がこの会社のためにできることは?」と、聞かれ、答えることができずに涙ぐんでしまったという加藤さん。「なにも具体的に言えなかったんです。自分でも確然としてしまって、なんの根拠もない自信は面接の時に崩れ落ちました。(笑)でも、その後のやりとりで、会社に加藤さんの熱意を感じたといいます。「プラスアルファの部分のみつくれたなと思います。」特定の業種、会社を選び働くということは、同時に会社が求めるものを満たす実力を持ち、選ばれてはいけないということ。そのためにも、自分を冷静に分析し、できることはこれ、これから学んでいかなければいけないとはこれ、と的確に言葉で伝える技術も面接には必要要素だったのでは、と加藤さんは言います。



まずは始めの一步から

最後にAターンを考えている方にアドバイスをお願いします。「一つ一つ行動に移していくことではないでしょうか。目的を明確にすることはもちろんですが、実際にAターン登録をするなどの行動に移していくと、頭の中も整理されてどんだん体が動いていくように思います。そうすることで欲しかった情報も耳に入りやすくなります。」少しでも、Aターンしたいという気持ちがあるなら、まずは一歩踏み出すこと。実際に行動に移し、望んでいたものを手に入れた加藤さんは、これから作り上げる新しい生活への希望で満ちあふれているようでした。

秋田温泉プラザ

接客業

加藤 真希子さん

秋田県野町出身
昭和59年生まれ・21才

データで見る
秋田の
暮らし



A ターン 探 用 を 語 る

秋田温泉プラザ

専務取締役 松田 賢明



秋田温泉プラザ

〒010-0822

秋田県秋田市涌川字内川原14-2-3

TEL018-833-1919

FAX018-833-1229

◎加藤さんを採用した理由はなんですか。

私共では採用を決めるのに、特に経験や、履歴書にはこだわりません。履歴書は単なる過去の信用簿。過去の事よりもこれからの未来にかけるといふ気持ちのある人間を採用したいと思っています。加藤さんは接客業の経験がありますが、それよりも面接の時に感じた彼女の意気込みや、やる気重視でした。新しく人を採用するということは、会社にとって全体的なバランスを変えることもなりうること。今ある自分の形を打破して、新しく作り上げたいという意志をもった彼女は今の会社にとって、いい影響になると考えました。

◎加藤さんに期待すること

お客様いかに喜んでもらい、満足して帰ってもらうのが接客業の柱となっております。お客様の価値観と私共の考えるサービスの認識がずれた場合、どのように対応していかなければならぬようになるのも、接客業の奥の深さでしょう。こうしたことは経験を積むことによって出来る生きた知識です。加藤さんはまだ若いのですから、仕事を通してこうした知識を増やし、近い将来会社に還元できるように頑張って欲しいと期待しております。



歴史の香り漂う美しい街

横手市の旅

秋田県南部に位置する横手市は、奥羽山脈と出羽山地に囲まれた肥沃な大地、横手盆地に在する中核都市。秋田県内最大の豪雪地帯でありながら、優れた地域産業を生み出した経済活発な都市でもあります。今回は、特色豊かな活力満ちあふれる町、横手市をご紹介します。



- 東京からのアクセス
 秋田へは→飛行機か秋田新幹線まで
 (飛行機) 秋田空港からエアポートタクシー
 (直通タクシー 018-867-7444)で
 横手まで約75分(片道3,800円)
 (バス) 秋田駅から奥羽本線で(秋田新幹線センター 050-2016-1600)
 横手駅まで約77分(片道1,280円)
 (バス) 秋田駅から秋田交通バス(秋田交通 0183-73-1153)
 横手駅(バスターミナル)まで約95分(片道1,330円)

① 秋田ふるさと村

横手インターのすぐそばにあるテーマパーク。東京ドーム4個分の広大な敷地に、秋田ならではの温もりと先進の施設が調和しています。15あるアトラクションには東北最大級を誇るプラネタリウム・星空探検隊スペースから、世界の名画の他、秋田顔面等を展示する県立近代美術館、わんぱく広場など、イベントも盛り沢山な大人から子供まで楽しめる施設。

■電/ (株)秋田ふるさと村
 ☎0182-33-8800



② 後三年の役古戦場 金沢の橋

1083年から1087年まで続いた後三年の役の際藤原氏の天険の山城。別名金沢城。平鹿、仙北の平野が一望でき、頂上から見る景色はまさに眺望絶頂。現在でも段丘や塹壕の痕跡があり、資料館や歴史公園(冬季閉鎖)なども設備された城郭。

■電/横手市観光協会 ☎0182-33-7111



③ 石坂洋次郎文学記念館

石原裕次郎主演を話題にした「若い人」や「青い山脈」等で知られる作家石坂洋次郎の記念館。横手市で13年間閑居生活を送った作家の業績と、文壇に果たした功績を残された資料からうかがうことができます。

■電/石坂洋次郎文学記念館
 ☎0182-33-5052

④ まんが美術館

全国初のまんがをテーマにした美術館。著名増田町出身の矢口高雄の作品をはじめ、地元作家の作品が常展展示されています。その他にも原画や、まんが資料等が豊富。

■電/まんが美術館 ☎0182-45-5556



横手の冬まつり

A.かまくら

2月15日~16日
 「あがつたんせ」甘酒歌でたんせと、子供達の声からうそく涼い光がもれる雪室の中から聞こえてくる、真っ白な風笛と相まり、まるで別世界にいるかのような雰囲気もかもし出す小正月の伝統行事。40年以上の歴史をもつこのお祭りは、永神様を祭った行事や松籠り、しめ縄を焼く行事と鳥追いの行事などが一体になったものです。



B.竹うち

2月15日
 雪作を折願し、町を南北両面にかけて3,000本の青竹で打ち合う勇壮な行事。3度決戦をし勝敗を決めるが、北軍が勝てば雪作、南軍が勝てば米の塩があがると言われています。毎年かまくらの初日に行われます。



C.ぼんでん

2月16日~2月17日
 約250年の伝統を持つといわれる横手のぼんでんは他に類がないほどに大型で、豪華絢爛な頭飾りが特徴です。五段豊饗、町内安全、商売繁昌を願い神社に奉納する際に、神様で先陣を争い競い合う様子をまさに仕組。冬の横手のまつりの中で、「静かにかまくらに対して」のぼんでんと言われています。

◆知ってましたか？ 横手市は納豆発祥の地！

納豆は、後三年の役で兵糧として苗で大豆を蒸かにつつておいたものが、自然発酵したのが始まりだと伝えられています。そんなさくらの横手の食文化の研究と発展に取り組んでいる「よこて発酵文化研究所」、地域に根ざした伝統・文化・技術である「発酵」をキーワードとし、調査を重視した書籍、新しい食文化や健康の構築を目指して、発酵文化を盛り上げたスローライフ町の研究や食糧数値に努めています。昔ながらの良食生活やライフスタイルが再認識されるよこて発酵文化研究所では食と人間の関係を再検討し、私産を取りもつ自然環境への思いを発信しています。

■よこて発酵文化研究所 ☎0182-32-2111

◆横手といえは横手やきそば!!

横手に来たら、味わってみたいのが横手やきそば。第二次世界大戦後、横手でおいほ焼き屋を営んでいた店主が、「他に取扱を使った料理をだせないものか」と始めたそうです。当時のおいほ焼きは、薄く、クレープ上に焼き上げられ、割り箸に巻いて食べるといいう手軽なおやつ感覚のものでした。その延長線の食べるとしてやきそばが検討され、ラーメンと比べてもゆで感が安く、手頃な価格とおいしさから、子供から大人までに人気を博したそうです。福神漬と半熟の目玉焼きが乗っているのが横手風。ぜひ、お試しください!!

◆あきた十文字映画祭

今年で第15回を迎える「あきた十文字映画祭」が、2月10日(金)から12日(日)までの3日間、十文字町総合文化センターで開催されます。かつて十文字町内にあった映画館を呼び、映画を見る機会を作ろうと開催されたのが始まりのこの映画祭。邦画だけでなく、アジア近隣諸国の映画も揃って毎年約13本の映画を上映しています。若手から実力者まで、多様な作品が揃う映画祭。

■電/あきた十文字映画祭実行委員会事務局
 ☎018-866-0046

登録者連絡用はがき

■住所変更連絡用(変更後の住所等を入力)

〒 -

番

■封筒の種類(どちらかに印)
 白封筒 定規機構の名前入り封筒

★記入欄(住所変更時)宛先住所、氏名、電話番号、Eメール、お名前、お住所、お電話番号、おメールアドレス、お名前、お住所、お電話番号、おメールアドレス、お名前、お住所、お電話番号、おメールアドレス

氏名

登録番号

生年月日

昭和

年

月

日

生

登録住所

〒

番

氏名

登録番号

生年月日

昭和

年

月

日

生

登録住所

〒

番